

# 謹賀新年

JA松本ハイランドは持続可能な農業とくらしの未来づくりをすすめます



## 田中均組合長が語る新年度のJA運営

### ○コロナ禍でのJA運営

JAの基盤は、組合員のみならず、地域のみなさんとのつながり・関係性にあります。コロナ禍により集いの機会が少なくなりましたが、幸い、いままでの関係性の蓄積のおかげで事業への影響は最小限にとどまりました。今年こそは、コロナが全面的に収束し、笑顔あふれる地域づくりに貢献できればと思っております。

### ○協同の力で課題解決

近年「パーパス経営」という言葉が企業で広まっているようです。JAのパーパス（存在意義）は、組合員と地域のみならずの「営農とくらしを守る」とことです。燃料・資材の高騰、自然災害、農産物価格の低迷、後継者不足、高齢化、遊休農地、労働力不足など課題は山積していますが、協同活動を盛んにして、協同の力でこれらの課題解決をめざしてまいります。

### ○2つの協同によるJAづくり

協同には「大きな協同」と「小さな協同」があります。「大きな協同」により、事業体として経済合理性を追求して経営基盤を強化します。その一つが合併です。令和2年11月に3JAが合併して、組合員数は4万人を超えるJAとなりました。もう一つ「小さな協同」とは、組合員の多様性を尊重した地域での協同活動です。2つの協同によって組合員の期待に応えるJAづくりを行ってまいります。

### ○新年度JAがめざす姿

JAの活力は協同活動に参加し、貢献しようとするみなさんの意欲に依存します。組合員、地域のみなさんの願いや課題をテーマとして、願いの実現や課題の解決を図るための委員会を支所単位に創設します。「糸」の歌詞のように、縦と横の糸を紡いで、温かい布を織ることができればと思っております。



新村支所「夢あわせ農園」でサツマイモの収穫を体験する園児

## さらなる自己改革へ JA松本ハイランドは挑戦しつづけます

### 「RICS」で離れた組合員にも専門職員が対応

JA松本ハイランドは昨年の7月19日から、リモート窓口相談システム「RICS（リックス）」による総合相談サービスを開始しました。このサービスは、対応できる職員が限られる専門的な相談を「見える化」し、支所からでも対面で書類のやりとりなどを行える独自システムです。

「RICS」の専用ブースでは、説明資料や書類などの映像を映すモニターを設置。来店者は複雑な操作が不要で、オペレーター案内に沿って書類に記入。書類や資料は画面で共有し、必要なものはブース内のプリンターで印刷して持ち帰ることができます。

その第1弾として、JAで年金や相続の専門相談に対応して

### 体験型農園「夢あわせ農園」で農業への共感醸成

JA松本ハイランドでは、農業に馴染みのない准組合員や地域のみなさんにも農業の魅力や地元農産物のおいしさを知ってもらおうと、支所を拠点とした「夢あわせ農園」を運営しています。2017年に松本市今井地区で始めたことを皮切りに、各支所でそれぞれ特色ある活動を展開しています。

### 新村支所

地元の保育園児に農作業を通じて農業を身近に感じてもらう食育活動の一環として取り組んでいます。サツマイモの定植・収穫を園児が行うことで、自身が植えた苗が生長し、収穫できる喜びを伝えていきます。また、コロナ禍以前は、大豆も同様に栽培。大豆が豆腐になるようすをJAが実演するなど食への関心も高めています。

### 明科・生坂支所

「安曇野田んぼファンクラブ」山清路ぶどうファンクラブ」を実施しています。定員を決め、農業に関心のある地域の方を募集。それぞれ全4回の作業を通じて、米・ぶどうの栽培を体験しています。田んぼファンクラブでは、地元園児や児童、定年を迎えた地域住民など幅広い世代が米づくりを体験。また、ぶどうファンクラブでは、ぶどう栽培に興味を持った参加者が自主的に地元農家の作業を手伝うなど、農家の人手不足解消の一翼を担っています。

### 「RICS」の機能

こちらの資料をご覧ください

参考資料を印刷しましたのでご家庭でご確認ください

赤い枠で囲んだところを記入してください

**支所相談ブース（組合員・利用者）**  
機械の操作はすべてJA職員が行い、必要書類の記入も遠隔でサポートいたします。お持ちいただいた身分証明や年金手帳などの資料を共有することもできます。



松本ハイランド農業協同組合

人と自然の夢あわせ

挑戦 信頼 改革 創造 協働

〒390-8555 松本市南松本1丁目2番16号 TEL.0263-26-1400(代)

<http://www.ja-m.iijan.or.jp/>

JA松本ハイランド 検索